

# 地域防災ネットワーク

災害の発生に備えて、市をはじめとする行政機関は、さまざまな防災対策を行っています。しかし、大規模な災害が起こったときには行政機関だけでなく、市民ひとりひとりや地域全体が協力して対応することが重要です。

日頃から「地域の個人や団体が顔の見える関係づくりを築くことで、連携・協働がスムーズに展開され、災害時における活動が強化されて被害を最小限に抑えることができます。

## 自助・共助・公助の連携

災害発生時には自助・共助・公助がそれぞれ支え合うことが欠かせません。

### 自助の活動

- 住宅の耐震化、家具の転倒防止
- 食料や非常用物資の家庭内備蓄
- 被災時における連絡手段の確保

### 公助の活動

- 防災対策の検討、整備
- 地域防災の支援
- 災害時の道路復旧等の応急対策等
- 災害時の関係機関への迅速な救助、支援要請

### 共助の活動

- 地域防災の担い手となる団体、個人の連携
- 地域の防災訓練、研修会の実施
- 災害時は連携・協力して、初期消火、救出救助、避難所運営等の活動

**共助** ● 共助の主体となるのは、自主防災組織（自治会）、民生委員・児童委員協議会、社会福祉協議会、消防団といった地域に根ざした組織や団体です。さらに、地元企業や協議会など、さまざまな団体も対象となります。

安全安心の確立

## 共助からはじまる地域防災ネットワーク

地域防災の要となる共助では、それぞれの組織や団体の「特色」を最大限に有効活用します。災害発生時に、スムーズな活動を行うには、日頃から「顔の見える関係」を築いておく必要があり、市はその活動をサポートしています。

### 地域防災ネットワーク

#### ▶ 地域防災の担い手

平時から積極的に防災・減災活動を展開

- 自主防災組織
- 自治会
- 社会福祉協議会
- 民生委員・児童委員協議会
- 消防団



顔の見える関係

#### ▶ 地域防災活動の支援団体

災害発生時に防災活動を支援

- 茨城県建設業協会 土浦支部つくば分会
- 各地域にある企業、事業所



災害発生!

お互いの役割を共有・活用して、被害の軽減を図る

## 非常用持出品（リュックサックなどに入れて、避難する際に持ち出すもの）

すぐに避難できるように、最低限必要なものを非常持ち出し品として準備しておきましょう。非常持ち出し袋は、両手の空くリュックサックがお勧めです。

- 飲料水
- 非常食（食べやすく、保存期間が長く、調理せずに食べられるもの）
- 貴重品（現金・通帳・印鑑・保険証の写しなど）
- 救急用品・医療品（高齢者や持病のあるかたは、常備薬やお薬手帳も）
- 厚手の手袋（軍手）
- ヘルメット・防災頭巾
- 衣類（上着・下着）
- 携帯用カイロ
- 雨具・防寒具
- 懐中電灯・LEDランタン
- ビニール袋
- 携帯ラジオ
- モバイルバッテリー
- 衛生用品（消毒液・マスク）
- ティッシュペーパー
- ウェットティッシュ
- タオル・ハンカチ
- 洗顔用具
- 歯磨きセット
- 生理用品

<家族構成に応じて必要なもの>

- 乳幼児：離乳食、粉ミルク・液体ミルク、おむつ、おしりふき など
- 妊婦：母子健康手帳、脱脂綿、ガーゼ、新生児用品 など
- 高齢者：入れ歯、入れ歯洗浄剤、介護食、大人用紙おむつ など
- 疾患のある方：主治医連絡先、持病薬、お薬手帳 など
- ペット：リード、ケージ、排せつ用品、ペットフード など
- その他：メガネ、コンタクトレンズ、補聴器 など



## 非常用備蓄品（最低3日分、できれば1週間）

避難所の備蓄品には限りがあります。また、ライフライン停止は長期に及ぶことも考えられます。自分や家族の生活必需品を日頃から準備しておくことで安心です。

保存性のよい食料や水を買置きし、消費したら買い足す「ローリングストック方式」が大変便利です。

- 飲料水：大人1人当たり1日3リットル
- 食料品：アルファ米、インスタント・レトルト食品、缶詰、お菓子、調味料など
- トイレ用品：簡易トイレ、汚物保存用容器、トイレ処理袋、トイレトペーパー
- 燃料：カセットコンロ、カセットボンベ、固形燃料
- 簡易食器：わりばし、紙皿、食品用ラップ
- 寝具：毛布、寝袋
- 照明：懐中電灯、LEDランタン

### ● ローリングストック方式

